

# PTPからESOPへ — 次世代錠剤包装(軟らか包装)ESOP 導入でこんなに変わる！タイプ別ビフォーアフター

## 服用者の場合

**BEFORE**

誤飲した場合は体内を切り刻み一大事に！

角や裁断部が鋭利で危険

(服薬カレンダーに入れる場合) 固くて切るのが大変

**AFTER**

軟らかいので体内を傷つけることもない

軟らかいから安心

(服薬カレンダーに入れる場合) 一つ一つ手で容易に切り取れる

## 調剤薬局の場合

**BEFORE**

仕分け作業する場合、作業工程が多く誤調剤の原因に

手間がかかり誤調剤の可能性

そのままセットするだけ

**AFTER**

箱から取り出してセットするだけだから簡単

バーコード管理で誤調剤なし

**BEFORE**

(一包装する場合) 一錠一錠、指や器具で取り出す必要がある

あくせく! あくせく!

**AFTER**

(一包装する場合) 専用器具で開封すればまとめて取り出せる

「手間」と「時間」がかからないから一人でも大丈夫!

所用時間約3秒!

## 製薬メーカーの場合

**BEFORE**

(長期で見た場合) 製造コスト高い

十分なスペースが無く薬によっては切り離すと情報が読めなくなる

裏面のアルミ部分は破れたり穴があきやすい(水分・酸素透過による成分劣化)

**AFTER**

(長期で見た場合) 製造コスト低い

一錠ごとに情報が記載されているので安心

気密性・安定性が高く簡単には破けません

## 介助者・看護師の場合

**BEFORE**

時間帯別に袋に小分けして手間がかかる

朝 昼 夜

**AFTER**

以下のような使い方も可能(リング閉じて簡単に小分け)

朝 昼 夜

**BEFORE**

箱の大きさもバラバラでかさばり、わかりにくい

**AFTER**

省スペースでかさばらず整理が容易(標準規格化による統一)

**BEFORE**

端数の服薬錠数用に個別に切っておく必要がある(誤飲の原因・裁断部が危険)

**AFTER**

服薬錠数に関係なく、必要な分だけ簡単にカット

## 病院の場合

**BEFORE**

持参薬の場合、情報がわかりにくく処理にかかる

「何だかわからない」

**AFTER**

一錠ごとに情報(品名や有効期限)が記載されていて処理もスムーズ

「これならね!」

※ESOPの収納ケースは、ロール式タイプ以外にも通常の箱タイプ(シート式)もあります。ケースの仕様は変更になる場合もあります。